教科目名　生産管理（Management for Production）

学科名・学年　：電気電子工学科 5年
単位数など　：選択 1単位　（前期 1コマ,学習保証時間 22.5時間）
担当教員　：村松清

授業の概要

生産の概念をモノ造りのみならずサービスまで広げ，その管理，すなわち，予測－計画－実行－評価－修正のサイクルの概念とそこで使用する各種の手法について，基本的な知識を演習を併用しながら学ぶ．企業に在籍する講師が担当することから，単なる理論・知識の習得にとどまらず，実際の応用事例や企業見学を取り入れて現実感のある理解を浸透させる．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(E2)，JABEE 目標(d1⑤)(d2a)**

(1) 生産管理の体系とそれを構成する理論・手法の概要が理解できていること（定期試験）．
(2) 身近な事例の問題を生産管理の視点で分析し，その問題に対する解決策を考えることが出来ること（定期試験）．
(3)「実社会におけるエンジニアとしての自分の姿」をイメージアップし，今後どのような態度や普遍的な考え方を身につけるべきか，自分の考えを持つことができるようにすること（定期試験）．

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	生産管理の概念と生産方法	生産とは，生産システムとその分類，生産方式と生産管理，演習の進め方	【理解の度合い】
2	生産管理演習	需要予測と生産計画の立案演習	
3	需要予測	時系列予測（移動平均法・指数平滑法）	
4	需要予測，生産管理演習	回帰分析，需要予測と生産計画の立案演習	
5	生産計画	損益分岐点分析，線型計画法，演習	
6,7	工程計画，日程計画	ＰＥＲＴ，演習	
8	前期中間試験		【試験の点数】　　点
9	前期中間試験の解答と解説 鉄の生産管理システム		【理解の度合い】
10	在庫管理	定量発注方式，定期発注方式	
11	品質管理	品質管理概論，ﾊﾟﾚｰﾄ図，連関図・系統図，演習	
12	生産管理の実際	セブンイレブンにおける生産管理	
13	生産管理の実際	トヨタ生産方式	
14	生産管理の新しい手法	制約条件の理論(ＴＯＣ)，演習	
15	前期期末試験		【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	教科書はあるが，実際の授業は講師の自製プリントを配布して，その内容をプロジェクターを使用して説明する． 質問票を毎回終了時に提出させ，次回授業の冒頭で講師より解答する．これにより，学生に積極的な学習参加を促すと同時に，講義のフィードバックとして活用する． 定期試験は，講師指定のメモ用紙の持ち込み可とする． 正規の講義以外に新日本製鉄(株)大分製鉄所の見学を行う(任意参加)
教科書	新編　生産管理システム　　橋本・帆足・黒澤・加藤　著　（共立出版）
参考図書	ＯＲの基礎　　加藤・小沢　著　（実教出版）　新版　ＩＥの基礎　　藤田　著　（建帛社）
関連科目	電気法規，発変電工学
総合評価	達成目標の(1)～(3)について，4回の定期試験で評価する． 総合評価＝２回の定期試験の平均点 総合評価が 60 点以上を合格とする．

【総合達成度】

【総合評価】　　点